

## 富山市農業再生協議会臨時総会議事録

### 1 日時及び場所

日時 平成29年12月26日(火) 午前10時30分～11時20分  
場所 富山市営農サポートセンター2階研修室

### 2 総会に出席した協議会員

#### (1) 本人出席会員(19名)

篇原幸則(会長)、室井敏雄、田村長章、杉林啓一、若林正幸、茶木俊一、此口幸二、熊南昭浩、高見隆夫、西村勉、早水進、福田六雄、栗山善作、山本暁子、松島十三男、尾崎昭男、北野忠敬、田中静子、福山俊光

#### (2) 委任(2名)

柞山園子、竹島 茂

会員数22名中本人出席19名、委任出席2名 合計21名

### 3 総会に出席した助言者

出席：酒井富夫、阪田俊朗、坪田安弘

### 4 総会に出席した幹事会員

(1) 幹事：村上裕一(幹事長)、杉森公宏、田村善光、杉本周治、高嶋善秀、池口昌博、本林成元、浅畑義仁、神代恵美

(2) 助言者：横澤隆(代理山之内志朗)、池原義信(代理田中豊継)

### 5 総会に出席した事務局員

大道勝則(事務局長)、西野哲夫(事務局次長)、山崎博之、小竹聡、埜島勇樹

## 議 事 録

事務局長（司会者）

平成29年度富山市農業再生協議会臨時総会の開催を告げる。

富山市農業再生協議会規約第5条の富山市農業再生協議会の会員は、22名をもって組織し、規約第15条で総会は、会員現在数の過半数の出席が必要となっている。本人の出席会員は19名、委任出席2名、合計21名で過半数を超えていることから富山市農業再生協議会臨時総会の成立を告げる。

事務局長

篇原会長から挨拶を願う。

篇原会長

臨時総会の主旨と出席者への謝辞等挨拶する。

事務局長

議長の選出について、規約第13条の2項で出席会員のうちから選出するとなっているが、慣例により篇原会長を推挙したいと諮る。

全員

異議なし。

事務局長

議長に篇原会長が選出されたことを告げる。

議長

総会役員を選任について、議事録署名人を早水進会員、栗山善作会員書記を西野事務局次長に任命する。

議長

報告事項について、事務局に説明を求める。

事務局

報告事項について資料に基づき説明する。

議長

引き継ぎ議事に入ることを告げる。

議長

議事に入り第1号議案、平成30年産米から適用する基準単収の設定について（案）、第2号議案、平成30年産米からの生産調整方針作成者別の生産目標の算定について（案）を議題とし、事務局に説明を求める。

事務局

第1号議案、第2号議案資料により説明する。

議長

第1号議案、第2号議案について、質疑を求める。

茶木会員

協議会の基準単収設定方法におけるふるい目幅の取り扱いについて説明を求む。

事務局

要領の規定に基づき、県協議会から通知を受けた1.70mm基準ベース平年収量に整合した単収設定としていることを説明する。

茶木会員

農業者の用いる1.85mmふるい目幅の単収と統計単収では差があるのではないか意見を求む。

阪田助言者

農業者の用いるふるい目幅の単収と統計単収の乖離があるため、国は、平成27年度以降の作況指数を農家が実際に用いるふるい目の1.85mmを用いることとしている。ただし、基準単収の根拠とするには、統計的にデータが少ないため現状は困難であることを説明する。

福山会員

平成30年産以降に米価等が下落した際の県協議会のリスク対策の有無について説明を求む。

事務局

県協議会の「富山県における米政策の見直しへの対応方針」では、リスク対策についての記述は確認できないが、米価の安定のため、県全域でこれまでどおり需要に応じた米の生産と水田フル活用の推進を取組方針としていることを説明する。

議長

その後、質疑等の発言がなく、拍手による採決を諮る。

拍手多数により第1号議案、第2号議案が原案どおり承認可決したことを告げる。

議長

第3号議案、平成30年度産地交付金取扱について（案）を議題とし、事務局に説明を求める。

事務局

第3号議案資料により説明する。

議長

第3号議案について、質疑を求める。

此口会員

平成30年度の産地交付金についての見通しについて説明を求む。

事務局

今後の、内示額や制度の変更等も含め幹事会で検討する旨を説明する。

議長

第3号議案について、質疑を求める。

議長

質疑等の発言がなく、拍手による採決を諮る。

拍手多数により第3号議案が原案どおり承認可決したことを告げる。

議長

総会の議案事項が全て承認を得たので議長の降壇を告げる。

事務局長

室井副会長より閉会の挨拶を願う。

室井副会長

関係者が一丸となった農業再生と、富山市農業再生協議会の発展を期し、本臨時総会の閉会を告げる。（閉会宣言時間 11時20分）

以上、上記の議事を証するため、この議事録を作成し議事録署名人が押印する。

平成29年12月26日

議事録署名人 早水 進 ⑩

議事録署名人 栗山 善作 ⑩